

RSoft フォトニックデバイスツール

機能一覧

- ・パッシブ／アクティブ・フォトニック／オプトエレクトロニクス／デバイスの迅速なバーチャルプロトタイピング
- ・「What if = もし～の条件であれば」の製品シナリオによる新製品の開発
- ・全ツール共通のCADインターフェース
- ・自動スキャンとパラメータの最適化
- ・あらゆるプログラミング言語でのスクリプティング

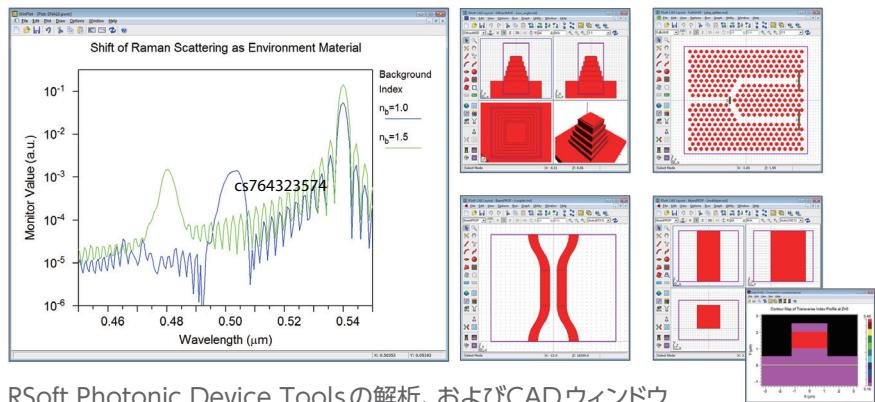
概要

RSoft フォトニックデバイスツールは、半導体レーザーやVCSELなどを含むパッシブ、およびアクティブのフォトニックデバイスやオプトエレクトロニクスデバイスのためのシミュレータと最適化ツールを業界最大の製品ラインナップで提供します。RSoft フォトニックデバイスツールは、シノプシスの光学設計ツールや半導体設計ツールと統合されており、マルチドメインのコシミュレーションを効率的に行うことができます。

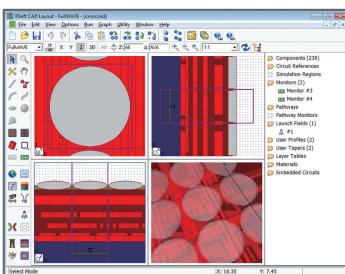
- ・シノプシスのCODE VとLightTools 製品と連携し、ナノテクスチャの光学構造の厳密なモデリングと回折解析を実現
- ・シノプシスのSentaurus TCAD 製品と連携し、複雑なオプトエレクトロニクスデバイスのシミュレーションを実現

主な特徴

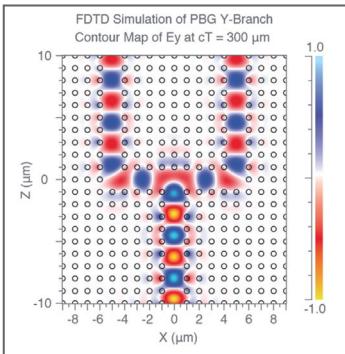
- ・高精度なアルゴリズムは、迅速なバーチャルプロトタイピングをサポートし、コストと時間のかかる物理的な試作回数を減らし、市場投入までの時間を短縮します。
- ・「What if = もし～の条件であれば」の製品シナリオによる新製品の開発を支援します。
- ・各シミュレーションエンジンは、共通のCADインターフェイスを使用しています。1つのソフトウェア上で、複数のRSoft パッケージを利用でき、ツールパッケージ間でデザインをインポートする必要はありません。
- ・各シミュレーションエンジンは個別にライセンスされているため、必要に応じて柔軟にツールを選択することができます。
- ・MOSTによるパラメータの自動スキャンと最適化をサポートします。



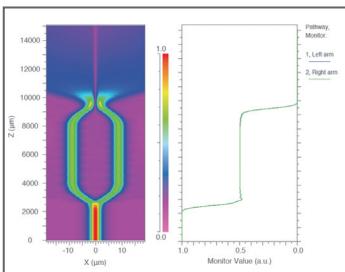
RSoft Photonic Device Tools の解析、およびCAD ウィンドウ



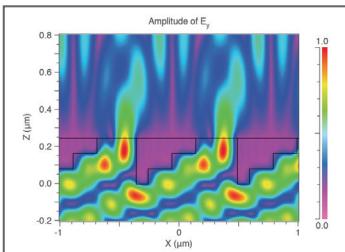
RSoft CAD Environment



FullWAVE FDTD



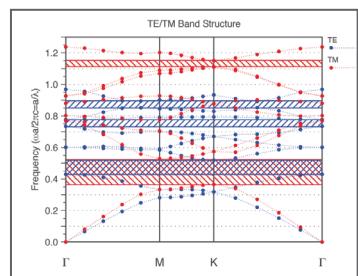
BeamPROP BPM



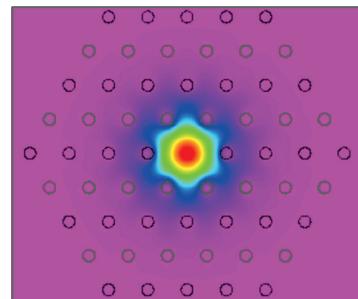
DiffractMOD RCWA

パッシブデバイツール

- RSoft CAD Environment** : RSoft CAD Environment は、RSoftパッシブデバイツールの中核となるプログラムで、光導波路素子や光回路を設計するためのシステムを構築することができます。
- FullWAVE FDTD** : FDTD(Finite-Difference Time-Domain)法をベースに、様々なフォトニック構造における光の伝搬解析を実現する高機能シミュレーションツールです。

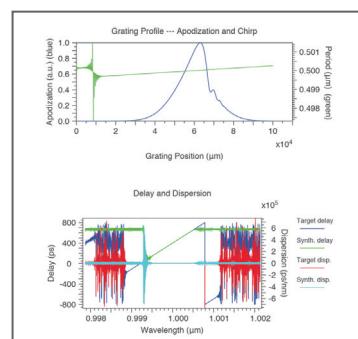


BandSOLVE PWE

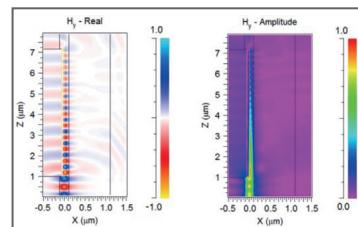


FemSIM FEM

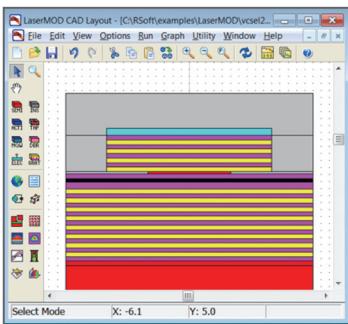
- BeamPROP BPM** : Beam Propagation Method (BPM)をベースにした業界最先端のツールで、光ファイバデバイスや光集積回路の設計およびシミュレーションを行えます。
- DiffractMOD RCWA** : 回折光学素子、サブ波長構造、フォトニックバンドギャップ結晶などの回折光学素子の設計・シミュレーションに最適なツールです。
- BandSOLVE PWE** : PWE(Plane Wave Expansion)アルゴリズムに基づいており、すべてのフォトニック結晶デバイスのフォトニックバンド構造のモデリングと計算を自動化および簡略化する、初めて商品化された設計ツールです。
- FemSIM FEM** : 有限要素法(FEM)をベースにした汎用モードソルバーで、不均一メッシュを利用することができます、任意の構造の任意の数の横モードやキャビティモードを計算することができます。
- GratingMOD CMT** : Coupled Mode Theory (CMT)をベースにした汎用設計ツールで、光ファイバや光集積回路の複雑なグレーティングプロファイルを解析・合成し、さまざまなフォトニックアプリケーションに対応します。



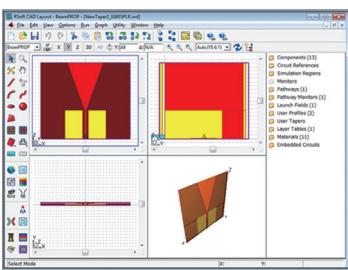
GratingMOD CMT



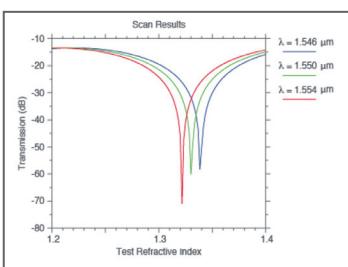
ModePROP EME



LaserMOD



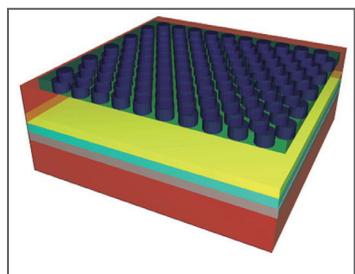
Tapered Laser Utility



MOST

アクティブデバイスツール

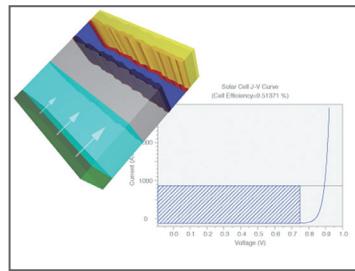
- LaserMOD** : 半導体レーザや類似のアクティブデバイスの光学、電子、熱的特性をシミュレーションするツールです。
- Tapered Laser Utility** : テーパ型半導体レーザダイオードの解析と最適化のための効率的で正確な設計ツールです。



LED Utility

その他のオプションとユーティリティ

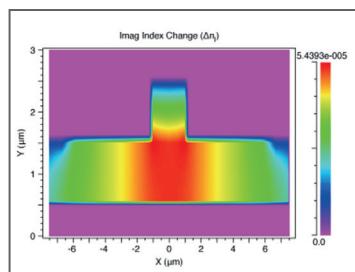
- LED Utility** : 次世代のLED構造や材料を正確にシミュレーションするためのツールです。このユーティリティは、一般的なタスクを簡略化し、取り出し効率や放射パターンの厳密な計算を支援します。
- Solar Cell Utility** : 太陽電池デバイスの光学的および電子的なシミュレーションによるソリューションを提供します。このユーティリティは、J-V曲線、量子効率スペクトル、および全体的なセル効率の計算を支援します。
- Multi-Physics Utility** : このユーティリティは、RSoftのパッシブデバイスツールと併用して使用することができます。構造物の屈折率プロファイルの変動をシミュレーションに含めるための便利なインターフェースを提供します。



Solar Cell Utility

最適化とパラメータスキャン

- MOST** : The Multi-Variable Optimization and Scanning Tool (MOST)は、フォトニックデバイスの設計最適化という重要な課題に対応できるツールです。R&Dのサイクルにおいて、システムのパラメータ空間を把握することは非常に重要です。MOSTは物理ベースのRSoftシミュレータを自動で実行し、スキャンと最適化における定義、計算、分析を効率化することで、これらの重要な作業を軽減します。複数のRSoftツールのライセンスを取得している場合、MOSTは事実上1回のマウスクリックでネットワーク上の作業分配を自動化することができます。



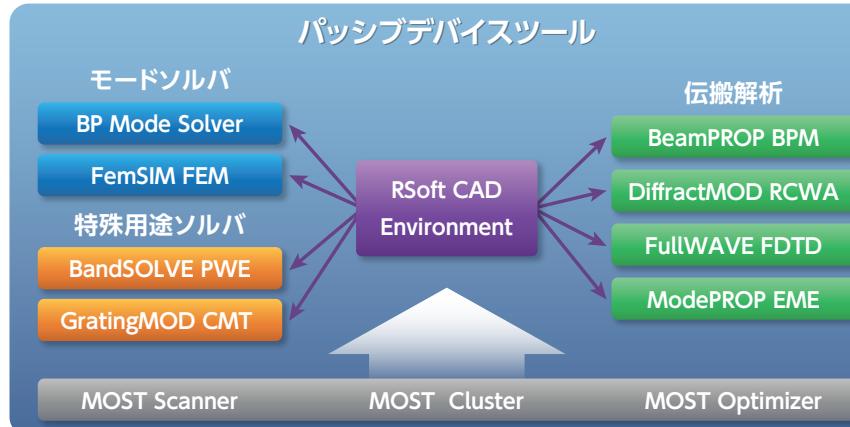
Multi-Physics Utility

アクティブデバイスツール

LaserMOD

ユーティリティ

- Tapered Laser Utility
- AWG Utility
- Solar Cell Utility
- LED Utility
- Multi-Physics Utility
- BSDF Utility → LightTools
- Ray-Tracing Converter → CODE V





日本シノプシス合同会社
〒158-0094 東京都世田谷区玉川12-21-1 二子玉川ライズオフィス e-mail : osg_sales_japan@synopsys.com

©2021 Synopsys, Inc.無断転載を禁じます。Synopsysは、米国およびその他の国におけるSynopsys, Inc.の商標です。シノプシスの商標の一覧は、synopsys.com/copyright.htmlでご覧いただけます。

本書に記載されているその他すべての名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

10/06/21.cs764323574-rsoft-photonic-device-tools-ds.